

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4726284号
(P4726284)

(45) 発行日 平成23年7月20日(2011.7.20)

(24) 登録日 平成23年4月22日(2011.4.22)

(51) Int.Cl.

F 1

G06F 17/30 (2006.01)
G06Q 10/00 (2006.01)G06F 17/30 170Z
G06F 17/30 110F
G06F 17/30 120B
G06F 17/60 158

請求項の数 6 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2000-243260 (P2000-243260)
(22) 出願日	平成12年8月10日 (2000.8.10)
(65) 公開番号	特開2002-56000 (P2002-56000A)
(43) 公開日	平成14年2月20日 (2002.2.20)
審査請求日	平成19年8月3日 (2007.8.3)

(73) 特許権者	500257300 ヤフー株式会社 東京都港区赤坂9丁目7番1号
(74) 代理人	110000176 一色国際特許業務法人
(74) 代理人	100094042 弁理士 鈴木 知
(72) 発明者	柴田 一輝 東京都港区北青山3丁目6番7号 ヤフー 株式会社内
審査官 波内 みさ	

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】WWWサーバー、友人情報をユーザ端末に閲覧させる方法、及びプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターネットを介してユーザ端末と通信し、ユーザ端末の要求に応じてユーザの友人の個人情報を蓄積・管理し、当該友人の個人情報をユーザ端末に閲覧させるWWWサーバーであって、

ユーザの会員情報を格納する会員データベースと、

ユーザの友人に係る友人情報を前記会員情報と対応づけて格納する友人データベースと、
ユーザ端末から登録要求を受信し、友人の個人情報及びユーザと友人との関係にまつわる属性情報を前記友人情報として、前記会員情報と対応づけて、前記友人データベースに格納する友人情報登録手段と、

前記ユーザ端末から、前記友人データベースに格納された友人の個人情報の閲覧を許可する申込要求を受信し、当該申込要求により閲覧を許可する相手である友人を識別する情報ごとに、前記属性情報を指定するカテゴリーを示すカテゴリー情報を対応づけて、前記申込要求の送信元であるユーザの前記会員情報に対応した閲覧許可リストに記憶する閲覧許可登録手段と、

友人ユーザ端末から閲覧要求を受信し、当該閲覧要求を送信した友人に閲覧を許可したユーザの前記会員情報に対応する前記閲覧許可リストにおいて、当該友人を識別する情報に対応づけて記憶されたカテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した友人の個人情報を抽出する友人情報

10

20

抽出手段と、

前記抽出した友人の個人情報を、前記友人ユーザ端末に送達する友人情報送達手段と、
を備えることを特徴とするWWWサーバー。

【請求項2】

前記属性情報は、友人に関する趣味を示す情報を含むことを特徴とする請求項1に記載のWWWサーバー。

【請求項3】

前記属性情報は、ユーザと友人との間の親密度を示す情報を含むことを特徴とする請求項1または2に記載のWWWサーバー。

【請求項4】

前記閲覧許可登録手段は、

パスワードを生成して、当該パスワードを前記友人を識別する情報として前記カテゴリー情報と対応づけて前記閲覧許可リストに記憶し、

前記友人情報抽出手段は、

友人ユーザ端末から前記友人の個人情報の閲覧要求をパスワードとともに受信し、当該パスワードと対応づけて前記閲覧許可リストに記憶されている前記カテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した前記友人の個人情報を抽出することを特徴とする請求項1から3の何れかに記載のWWWサーバー。

【請求項5】

インターネットを介してユーザ端末と通信するコンピュータにより、ユーザ端末の要求に応じてユーザの友人の個人情報を蓄積・管理し、当該友人の個人情報をユーザ端末に閲覧させる方法であって、前記コンピュータが、

ユーザ端末から登録要求を受信し、ユーザの友人の個人情報及びユーザと友人との関係にまつわる属性情報を友人情報として、ユーザの会員情報を対応づけて、友人データベースに格納するステップ、

前記ユーザ端末から、前記友人データベースに格納された友人の個人情報の閲覧を許可する申込要求を受信し、当該申込要求により閲覧を許可する相手である友人を識別する情報ごとに、前記属性情報を指定するカテゴリーを示すカテゴリー情報を対応付けて、前記申込要求の送信元であるユーザの前記会員情報に対応した閲覧許可リストに記憶するステップ、

友人ユーザ端末から閲覧要求を受信し、当該閲覧要求を送信した友人に閲覧を許可したユーザの前記会員情報に対応する前記閲覧許可リストにおいて、当該友人を識別する情報に対応づけて記憶されたカテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した友人の個人情報を抽出するステップ、および

前記抽出した友人の個人情報を、前記友人ユーザ端末に送達するステップを実行することを特徴とする方法。

【請求項6】

インターネットを介してユーザ端末と通信するコンピュータを、

ユーザ端末から登録要求を受信し、ユーザの友人の個人情報及びユーザと友人との関係にまつわる属性情報を友人情報として、ユーザの会員情報を対応づけて、友人データベースに格納する友人情報登録手段、

前記ユーザ端末から、前記友人データベースに格納された友人の個人情報の閲覧を許可する申込要求を受信し、当該申込要求により閲覧を許可する相手である友人を識別する情報ごとに、前記属性情報を指定するカテゴリーを示すカテゴリー情報を対応付けて、前記申込要求の送信元であるユーザの前記会員情報に対応した閲覧許可リストに記憶する閲覧許可登録手段、

友人ユーザ端末から閲覧要求を受信し、当該閲覧要求を送信した友人に閲覧を許可したユーザの前記会員情報に対応する前記閲覧許可リストにおいて、当該友人を識別する情報

10

20

30

40

50

に対応づけて記憶されたカテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した友人の個人情報を抽出する友人情報抽出手段、および

前記抽出した友人の個人情報を、前記友人ユーザ端末に送達する友人情報送達手段、
として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット上のコミュニティに属する会員が擁する友人情報を、友人データベースごとに蓄積・管理し、また他の利用者に一定条件下で閲覧を許容するWebサーバーに関する。 10

【0002】

【従来の技術】

隆盛をきわめるインターネットにおいて、コミュニティと呼ばれ、種々のカテゴリー毎に同好の者同士が集まる仮想共同体が数多く見られる。このコミュニティでは、その会員の大部分がメールやチャット、ならびに電子掲示板などのコミュニケーションツールを利用している。会員はこれらコミュニケーションツールを用いることにより、コミュニティにおける会員同士で友好を深めたり、あるいは新しい友人を見つけたりする。

【0003】

例えば、電子掲示板を利用したコミュニケーションにおいては、インターネットに接続された会員コンピュータから電子掲示板サービスを提供するWebサーバーに向けて“渋谷でクラブ友達募集中～！”といったメッセージの送信が行われる。Webサーバーはこのメッセージを受信してメッセージ送信者の連絡先と共にWeb上に公開掲示する。そのWeb上に公開されたメッセージを別の会員が閲覧して例えは“ぜひ今度一緒に行きましょう！”などの様々な反応をWebサーバーにかえす。会員は、Webサーバーを介したこのようなメッセージのやりとりを通じて同好の仲間を募り、様々な出会いを体験する。こうして会員毎に徐々に集められていくコミュニティ上の友人についての情報、例えば友人名やそのメールアドレスといった友人情報は、例えばWebサーバーが提供するWeb上のアドレス帳などに記録することで管理される。 20

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上に述べたWeb上のアドレス帳などは、あくまでも会員各自だけに閲覧が許されるものであった。例えば会員の友人が、当該会員に友人情報の閲覧を許可されたとしても、インターネットを介してその友人のコンピュータをWebサーバーにアクセスさせ前記アドレス帳を閲覧できることはなかったのである。このことは、各会員間の活発な意見交換や交流が運営上好ましいとされるインターネットコミュニティにおいては大きな問題となりうる。

【0005】

コミュニティ運営開始当初は、物珍しさも手伝って利用者間で頻繁に交流が図られるが、ある程度まで利用者間の交流が進むとこの交流も停滞しがちとなる。これは、各自の抱える友人が固定化され、その友人グループ以外の交流が進まなくなることによると考えられる。 40

【0006】

本発明はこのような従来の課題に着目してなされたもので、会員各自が抱える友人間の交流を促進し、コミュニティの運営を円滑ならしめる、会員ごとの友人データベースを管理するWebサーバーを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための発明は、インターネットを介してユーザ端末と通信し、ユーザ端末の要求に応じてユーザの友人の個人情報を蓄積・管理し、当該友人の個人情報をユ 50

ーザ端末に閲覧させるWWWサーバーであって、ユーザの会員情報を格納する会員データベースと、ユーザの友人に係る友人情報を前記会員情報と対応づけて格納する友人データベースと、ユーザ端末から登録要求を受信し、友人の個人情報及びユーザと友人との関係にまつわる属性情報を前記友人情報として、前記会員情報と対応づけて、前記友人データベースに格納する友人情報登録手段と、前記ユーザ端末から、前記友人データベースに格納された友人の個人情報の閲覧を許可する申込要求を受信し、当該申込要求により閲覧を許可する相手である友人を識別する情報ごとに、前記属性情報を指定するカテゴリーを示すカテゴリー情報を対応付けて、前記申込要求の送信元であるユーザの前記会員情報に対応した閲覧許可リストに記憶する閲覧許可登録手段と、友人ユーザ端末から閲覧要求を受信し、当該閲覧要求を送信した友人に閲覧を許可したユーザの前記会員情報に対応する前記閲覧許可リストにおいて、当該友人を識別する情報に対応づけて記憶されたカテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した友人の個人情報を抽出する友人情報抽出手段と、前記抽出した友人の個人情報を、前記友人ユーザ端末に送達する友人情報送達手段と、を備えることを特徴とする。

また、本発明は、前記属性情報は、友人に関する趣味を示す情報を含むことを特徴とする。

また、本発明は、前記属性情報は、ユーザと友人との間の親密度を示す情報を含むことを特徴とする。

また、本発明は、前記閲覧許可登録手段は、パスワードを生成して、当該パスワードを前記友人を識別する情報として前記カテゴリー情報を対応づけて前記閲覧許可リストに記憶し、前記友人情報抽出手段は、友人ユーザ端末から前記友人の個人情報の閲覧要求をパスワードとともに受信し、当該パスワードと対応づけて前記閲覧許可リストに記憶されている前記カテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した前記友人の個人情報を抽出することを特徴とする。

また、本発明は、インターネットを介してユーザ端末と通信するコンピュータにより、ユーザ端末の要求に応じてユーザの友人の個人情報を蓄積・管理し、当該友人の個人情報をユーザ端末に閲覧させる方法であって、前記コンピュータが、ユーザ端末から登録要求を受信し、ユーザの友人の個人情報及びユーザと友人との関係にまつわる属性情報を友人情報として、ユーザの会員情報を対応づけて、友人データベースに格納するステップ、前記ユーザ端末から、前記友人データベースに格納された友人の個人情報の閲覧を許可する申込要求を受信し、当該申込要求により閲覧を許可する相手である友人を識別する情報ごとに、前記属性情報を指定するカテゴリーを示すカテゴリー情報を対応付けて、前記申込要求の送信元であるユーザの前記会員情報に対応した閲覧許可リストに記憶するステップ、友人ユーザ端末から閲覧要求を受信し、当該閲覧要求を送信した友人に閲覧を許可したユーザの前記会員情報に対応する前記閲覧許可リストにおいて、当該友人を識別する情報に対応づけて記憶されたカテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した友人の個人情報を抽出するステップ、および前記抽出した友人の個人情報を、前記友人ユーザ端末に送達するステップを実行することを特徴とする。

また、本発明は、プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記プログラムは、インターネットを介してユーザ端末と通信するコンピュータを、ユーザ端末から登録要求を受信し、ユーザの友人の個人情報及びユーザと友人との関係にまつわる属性情報を友人情報として、ユーザの会員情報を対応づけて、友人データベースに格納する友人情報登録手段、前記ユーザ端末から、前記友人データベースに格納された友人の個人情報の閲覧を許可する申込要求を受信し、当該申込要求により閲覧を許可する相手である友人を識別する情報ごとに、前記属性情報を指定するカテゴリーを示すカテゴリー情報を対応付けて、前記申込要求の送信元であるユーザの前記会員情報に対応した閲覧許可リストに記憶する閲覧許可登録手段、友人ユーザ端末から閲覧要求を受信し、当該閲覧要求を送信した友人に閲覧を許可したユーザの前記会員情報に対応する前記閲覧許可リ

10

20

30

40

50

ストにおいて、当該友人を識別する情報に対応づけて記憶されたカテゴリー情報を参照し、前記友人データベースより、当該カテゴリー情報により指定された前記属性情報に対応した友人の個人情報を抽出する友人情報抽出手段、および前記抽出した友人の個人情報を、前記友人ユーザ端末に送達する友人情報送達手段、として機能させることを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】

＝＝＝ネットワークの基本構成＝＝＝

図1は本発明の友人データベースを管理するWebサーバーを含むネットワーク構成を示す概略図である。前記のネットワークとしてはLAN回線などいかなるネットワークも適宜採用できるが、ここではインターネットを例に挙げる。このインターネットを介して、Webサーバー10と、会員コンピュータ20や不特定多数のユーザが使用する利用者コンピュータ25とがネットワーク結合されている。会員コンピュータ20及び利用者コンピュータ25としては、パーソナルコンピュータなどの他に、例えばインターネット接続機能付きの携帯電話機であってもよいし、PDA(Personal Digital Assistant)、Web閲覧機能付きTV及びゲーム機などでもよい。

10

【0009】

ここで上記の会員とは、Webサーバー10により提供されているインターネットコミュニティの登録会員を意味する。インターネットコミュニティとは、種々のカテゴリー毎に同好の者同士が会員となって集まる仮想共同体である。このコミュニティでは、その会員同士が友好を深めたり、あるいは新しい友人を見つけたりする。コミュニティは、主に趣味や年齢層毎などに設けられ、あるWebページを各コミュニティへの共通玄関口、つまりはポータルサイトと設定して様々な層の人々を集約管理するのが一般的である。

20

【0010】

本発明のWebサーバー10は、各種データベースを付帯し、URLを指定してアクセスした会員コンピュータ20や利用者コンピュータ25に対してHTTPリクエスト/レスポンスのやり取りを行う。HTTP(Hypertext Transfer Protocol)は、インターネットを介したWebサーバー10とクライアントコンピュータとの間で、HTML文書を送受信するための通信プロトコルである。本実施例においては、例えば、まず会員コンピュータ20(クライアント)が、リクエストとして表示したいコミュニティサイト(HTML文書で記述)のURL(Uniform Resource Locators)をWebサーバー10に送信する。これに対しWebサーバー10は、自分が持つ前記コミュニティサイトを構成するHTML文書を会員コンピュータ20に送信するのである。

30

【0011】

このようなHTTPリクエスト/レスポンスのやり取りにより例えば、友人情報の入力・更新用のWebページの画面データなど適宜なデータ送付と受信とを実行する。こうしてWebサーバー10は、会員各自から管理を望まれた友人情報等をハードディスクなどの記憶資源に蓄積していく。自らの記憶資源に取り込んだ会員達の友人情報は各会員毎に管理され、隨時更新される。Webサーバー10は会員情報と当該会員から管理を望まれた友人情報を格納・管理するデータベースとして、友人データベース11、閲覧許可リスト12、および会員データベース13を備えている。勿論、これらデータベースは別々のデータベースとしてネットワーク結合した各個独立の記憶装置に設けてもよいし、適宜組み合わせたり或いは1つの記憶装置に集約して設けてもよい。

40

【0012】

前記友人データベース11は、会員コンピュータ20からWebサーバー10に送達される友人情報を会員毎の会員IDと絡めて格納・管理するデータベースである。この友人データベース11は、例えば関係データベースの一種であり、データの集まりを関係表(テーブル)の形式として管理している。ここでの関係表は、図1中の“会員Aの友人データベース11a”として示すように、友人IDと、氏名、住所、メールアドレスなどの個人情報と、属性情報とを列要素とし、それに対応した各友人の情報を行要素、つまりは友人レ

50

コードとして関連づけ、一覧表のようなデータ構造を形作っている。各友人レコードを特定する基本キーは、この場合、前記の友人IDとなる。

【0013】

友人データベース11中の前記属性情報とは、会員と友人との関係にまつわる各種の情報である。個々人の間の関係には、様々な形態があるが、例えばそれが趣味を通じた友人関係であったり、あるいは会社の同僚であったり、はたまた家族であったりと、様々である。インターネットコミュニティにおいては、人同士が趣味を通じて友人となる機会が多いはずであるから、本実施例ではこの属性情報を趣味で分類分けすると想定する。したがって図中の属性情報の欄における“a、b、c、・・・”の各アルファベットには、例えば野球、アウトドア、釣り、といった趣味の名称が関係付けされている。この属性情報に各友人が関係しているかどうかは、関係している場合“1”、関係ない場合は“0”として示している。10

【0014】

このように構造化された友人情報を格納している友人データベース11に会員コンピュータ20をアクセスする際には、例えば簡易照会言語たるSQL(Structured Query Language)により、前記の友人IDや属性情報などの列要素を入力することでデータ検索等の操作が可能になる。したがって、各友人を複数のカテゴリー毎に分類できる構成となっているのである。

【0015】

閲覧許可リスト12は、会員に閲覧を許可された各人が知っている各人ごとのパスワードと、各パスワードに該当する人に前記友人データベース11における多数の友人レコードのうちのどの属性に分類された友人レコードを閲覧許可したのかを示すカテゴリー情報とがセットになって作成されたものである。当該会員毎に会員IDに対応付けして記憶管理される。やはり、上記の友人データベース11と同様に関係表の形式でデータ管理される。図中ではパスワードとそれに対応するカテゴリー情報との関係表12aとして例示している。会員データベース13は、インターネットコミュニティにおいてユーザー登録した会員の情報を格納・管理するデータベースである。会員本人の個人情報が会員IDと結びつけられて格納されている。20

【0016】

= = = 運用手順 = = =30
友人データベース11を管理するWebサーバー10が、会員コンピュータ20から寄せられた友人情報を友人データベース11に格納・管理し、他の利用者に一定条件下で閲覧させる手順を以下に述べる。図2は本発明のWebサーバーの運用手順例を示す流れ図であり、図3は友人レコードの入力・更新画面の一例を示す説明図である。Webサーバー10は、URLを指定してWebサーバー10にアクセスしてきた会員コンピュータ20に対し、会員IDとログイン用のパスワードとの記入欄を備える会員認証画面データ(フォーム)を送達する。会員IDとパスワードとを前記会員認証画面データより取得したWebサーバー10は、当該会員IDとそれに対応したパスワードとを会員データベース13の会員IDテーブル13a、会員パスワードテーブル13bで照会する。

【0017】

この照会の結果、会員認証が完了すれば、当該会員の要望に応じて、友人情報の友人データベース11への新規登録や更新などを行う、友人レコード入力・更新画面30を会員コンピュータ20に送達する。この画面30は、会員ID欄31、パスワード欄32、友人情報の追加や変更、削除、確認といった処理を選択する処理選択欄33を備えている。ここで例えば、“新しい友人追加”をプルダウンメニュー中から選択したとすれば、「新しいお友達について教えて下さい」といった図にあるような新規入力を促すメッセージが示される。他方、友人情報の変更や削除を指定すると、「変更(削除)したいレコードの友人IDもしくはその範囲をご指定下さい」などのメッセージが表示されることになる。“友人情報の確認”を選択すると、会員自らの友人データベース11内で閲覧範囲を指定し友人レコードを閲覧することが出来る。4050

【0018】

友人情報の新規登録を行う場合、画面30には新しく友人データベース11に加える友人のIDを記入する友人ID欄34、その氏名欄34a、住所欄35、連絡先欄36、年齢層欄37、性別欄38などが表示される。これらの各欄で記入される情報は友人各自の個人情報となる。また、会員と友人とにまつわる関係を趣味で捉えた本実施例では、趣味欄39を設けてあり、友人に関する趣味を指定する。更に、会員と友達との親密度を指定する親密度欄39aも設けてある。この趣味欄39と親密度欄39aで記入された情報は、属性情報となる。Webサーバー10は、上記各欄で記入された情報を会員コンピュータ20から返信された画面データ中から取得し、各友人毎の友人レコードを作成する。そしてこの友人レコードを、友人データベース11における表形式のデータ構造内に列的に順次追加格納していく。

【0019】

会員毎の友人データベース11に順次格納されていく前記友人レコードは、会員自身で利用するのみならず、本発明においては他者にも当該会員の許可の下で閲覧利用の機会を与えており、図4は閲覧許可申込書の画面例を示す説明図であり、図5は友人レコードの閲覧画面の一例を示す説明図である。ある会員、“kaorun75”がその知人から友人データベース11内に蓄積してきた友人レコードの閲覧を要望され、それを受諾したとする。そしてその会員がWebサーバー10に閲覧許可申込書40の送達をWebページ等で指示すると、図4の画面がWebサーバー10より返信される。

【0020】

この画面40は、会員ID欄41、パスワード欄42、処理選択欄43が配置されている。処理選択欄43にて例えば、“パスワードの追加”を選択した場合、閲覧許可リスト12に新たなパスワードとそれに対応したカテゴリー情報とがパスワードのレコードとして追加されることになる。この場合、前記の各欄に加え、新しくパスワード与える、つまりは閲覧許可を与える友人のID欄44、氏名欄44a、連絡先欄45、それに閲覧許可範囲を指定するカテゴリー情報欄46が、画面40において表示される。各欄に所要事項が記入された閲覧許可申込書の画面40をWebサーバー10が会員コンピュータ20から受け取る。この時Webサーバー10は、記入済みの各欄ごとに記入情報を取得する。そして閲覧許可リスト12へと格納する。勿論、その格納に際しては、パスワードを自動生成し、それに対応した閲覧許可範囲を前記カテゴリー情報から決定し、互いに関係付けすることになる。

【0021】

閲覧許可を会員より得た者（利用者）は、上記のパスワードを会員やWebサーバー10よりの電子メールやファックス、あるいは電話、口頭といった適宜経路を経て入手する。そして、この利用者が友人データベース11における友人レコードを閲覧する際には、利用者コンピュータ25をWebサーバー10にアクセスさせる。Webサーバー10は、アクセスしてきた利用者コンピュータ25とHTTPリクエスト/レスポンスをやり取りし、適宜の認証画面データなどを送達する。その画面上で前記利用者に前記パスワードを入力させてそのパスワードが特定の会員（この場合、“kaorun75”なる会員IDを有する者）の閲覧許可リスト12に登録されていることを認証する。

【0022】

この認証により、所定会員により閲覧を正式に認められた者であることを確認した上で、そのパスワードに対応付けられ閲覧許可リスト12に格納されているカテゴリー情報を参照する。このカテゴリー情報に示された閲覧範囲をSQLで指定し、当該会員所有の友人データベース12における該当カテゴリーに分類されている友人レコードのみを抽出する。図5の友人レコード閲覧画面50においては、ある利用者が上述のようなパスワード認証を受けて友人レコードの閲覧が認められ、閲覧可能なカテゴリーを選択した状況を示している。

【0023】

例として、認証された“2ru5¥u\$9”がパスワード表示欄51に示され、“kaorun75”なる

10

20

30

40

50

会員IDが許可会員名欄52に示されている。ここで利用者がカテゴリー選択欄53にて、“野球”を選択していたとする。すると、友人レコード表示欄54には、“kaorun75”なる会員IDの会員が擁している友人レコード中から、“野球”の属性情報を備えた友人のレコードが選択される。そのデータは適宜一覧表にされて友人レコード閲覧画面50として利用者コンピュータ25に送達される。この、友人データベース11からの、カテゴリー情報に応じた友人レコードの抽出は、複数属性が絡み合った抽出となっていても勿論問題ない。例えば、「野球とアウトドアに関係した40才以上の男性」といった閲覧許可範囲をカテゴリー情報として設定してもよいのである。

【0024】

【発明の効果】

本発明によれば、会員各自が友人データベースに抱える友人情報（友人レコード）を相互に参照することが可能となる。これにより、コミュニティ運営開始当初は、物珍しさも手伝って会員間で頻繁に交流が図られるが、ある程度まで利用者間の交流が進むとこの交流も停滞しがちとなるといった従来の問題を解決し、インターネットコミュニティにおける各会員間の活発な意見交換や交流が著しく促進される。しかして、会員各自が抱える友人間の交流を促進し、コミュニティの運営を円滑ならしめる、会員ごとの友人データベースを管理するWebサーバーを提供可能となる。

10

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のWebサーバーを含むネットワーク構成を示す概略図である。

【図2】本発明のWebサーバーの運用手順例を示す流れ図である。

20

【図3】友人レコードの入力・更新画面の一例を示す説明図である。

【図4】閲覧許可申込書の画面例を示す説明図である。

【図5】友人レコードの閲覧画面の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

10 Webサーバー

11 友人データベース

12 閲覧許可リスト

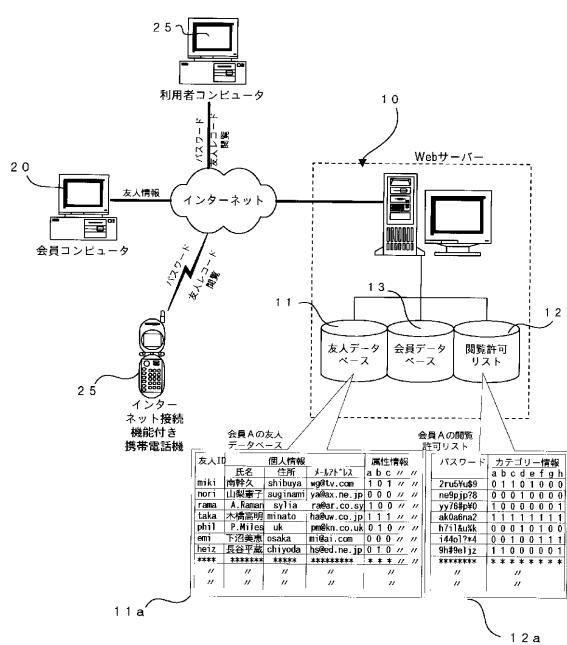
20 会員コンピュータ

25 利用者コンピュータ

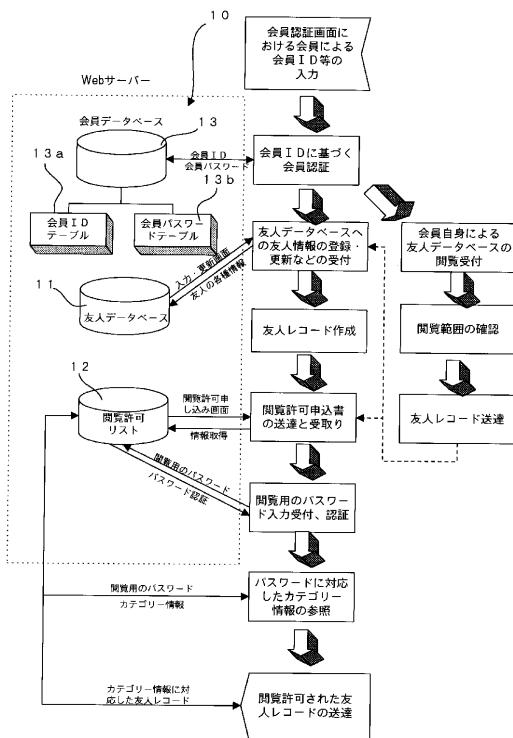
40 閲覧許可申込書画面（Web文書）

30

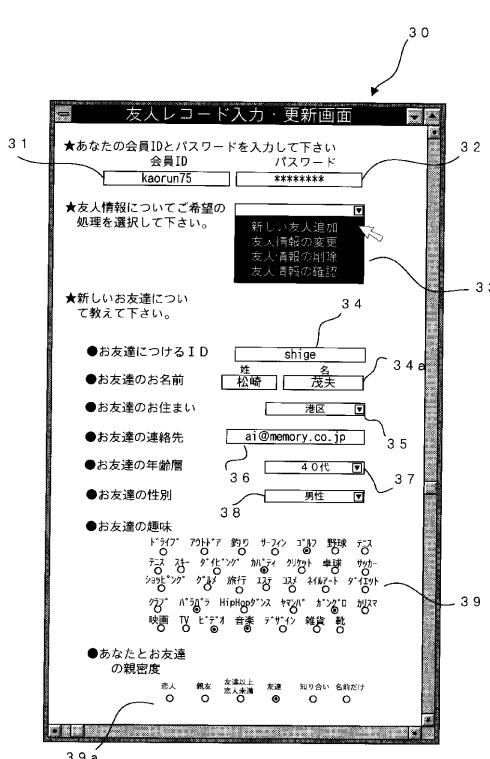
【図1】



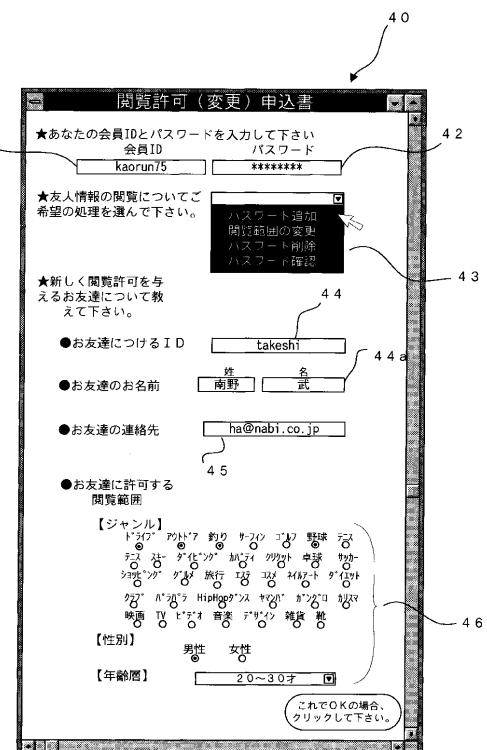
【図2】



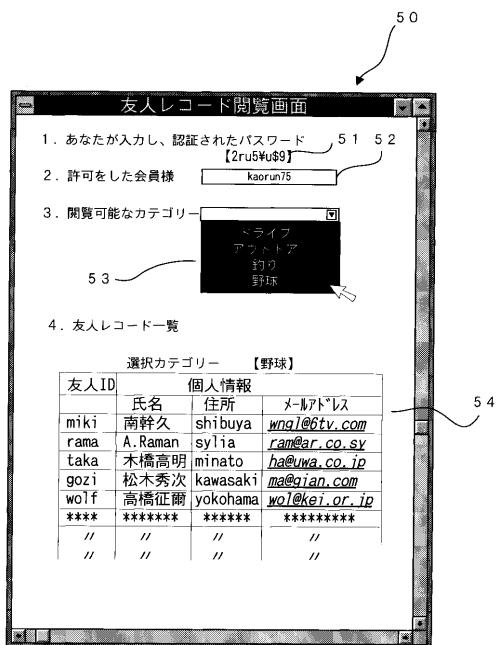
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平08-255150(JP,A)
特開平11-203322(JP,A)
特開平11-066082(JP,A)
特開平10-301905(JP,A)
出井 一, 使える! フリー&シェアDownload ASCII Part1 インターネットツール徹底活用「コミュニケーションツール」新着、アップデート情報、インターネット ASCII 第4巻 第9号, 日本, 株式会社アスキー, 1999年 9月 1日, 第4巻 第9号, 201
緒方 広明, PeCo-Mediator:人脈活用支援システムのモデル化と試作, 情報処理学会論文誌 第36巻 第6号, 日本, 社団法人情報処理学会, 1995年 6月 15日, 第36巻 第6号, 1299~1309

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 17/30

G06Q 10/00